

Zephyr

3

Ishmael の語りの相——『白鯨』第79章——

野 田 明 (1)

『納屋を燃やす』再読

相 田 洋 明 (11)

1989年11月

京都大学大学院英文学研究会

京都大学大学院英文学研究会の機関誌
『QUEST』は『Zephyr』に名称を変更い
たしました。

会則

1. 本会は京都大学大学院英文学研究会と称する。
2. 本会は今員相互の学問的向上をはかることを目的とし、随時会合を持つ。
3. 本会は年一回、機関誌『Zephyr』を発行する。会員はそれに投稿する資格を有し、その頒布を受ける。
4. 本会は、京都大学大学院文学研究科英米文学専攻在籍者、同出身者有志、同聴講生有志により構成される。
5. 4で定めるところの同出身者有志は、特別会員になることもできる。
6. 会員、及び特別会員は会費として年一定額を納める。その金額は会員間の話し合いにより決定する。
7. 責任者、会計係各一名、および編集者若干名は会務を分担する。その任期は一年とし、選出は会員の互選による。

投稿規定

1. 投稿は英語学英米文学に関する未発表論文に限る。
2. 投稿申込締切は毎年9月10日とする。
3. 原稿締切は翌年1月10日とする。
4. 投稿は原則として和文に限る(引用は原文でも可)。分量は、本文、註を含め、400字詰横書原稿用紙40枚以内とする。

後記

大変遅くなりましたが、『Zephyr』第3号をお届けいたします。一昨年創刊されました、京都大学大学院英文学研究会の機関誌『QUEST』は、不幸にも先行の別の同人雑誌と名前が重複しておりました。そこで、私達としては名前を変更せざるをえず、現在大学院に在籍している者による協議、投票の結果、新たに『Zephyr』と命名いたしました。新しい名前には、まだしっくりこない感じもありますが、これまで同様、諸先輩方の御指導、御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

しかし、実を言えば、名前よりも気にかかるのは、中身の方です。この第3号には、当初4名の投稿希望者がありながら、そして〆切の延長にもかかわらず、2名が挫折してしまいました。出来上がった論集の、内容、質に目をつぶるとしても、手にとった時のこの薄さ、頼りなさ。『Zephyr』が、名前だおれにならぬよう、若い力によって、無事成長することを祈ります。

(A.N.)

Zephyr

第 3 号

1989年11月30日 発行

発行人 京都大学大学院英文学研究会
京都市左京区吉田本町
京都大学文学部英米文学研究室内

印刷所 京都市左京区田中門前町89
堀井印刷